

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 27 年 6 月 23 日現在

機関番号：35404

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2012～2014

課題番号：24330131

研究課題名(和文) 多国籍企業における環境経営と国内・海外サプライヤーへの波及に関する研究

研究課題名(英文) Environmental management by multinational corporations and its transfer to domestic and foreign suppliers

研究代表者

金原 達夫 (Kimbara, Tatsuo)

広島修道大学・商学部・教授

研究者番号：20099097

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,500,000円

研究成果の概要(和文)：グローバルに事業を展開する企業は、持続可能な社会の実現に向けて大きな役割を果たすことができる。本研究では、日本企業による環境経営の海外事業およびサプライチェーンへの移転について分析した。アンケート調査によって得たデータを使って統計的な分析を行ったほか、文献のレビュー、日本企業の事例研究を行った。研究成果は、IFSAM(2014)、Euro-Asia (2014)、TMS(2014)などで発表し、国内海外の雑誌に論文を発表した。

研究成果の概要(英文)：Firms which operate globally can play important role for the realization of sustainable society. This research analyzed the transfer of environmental management to overseas operation and supply chain by Japanese multinational firms. Statisticakl analysis usign the data obtained from questionnaire survey, and theoretical review of literature and case studies of Japanese firms.

The results of study were presented in the international conferecne such as IFSAM2014, Euro-Asia 2014 and TMS 2014. They are also published in the Japanese and foreign journals.

研究分野：経営学

キーワード：環境経営 サプライヤー 海外子会社 国際移転 グリーン調達 環境マネジメントシステム

1. 研究開始当初の背景

社会の持続可能な発展のために、グローバルな事業展開をする大企業が果たす役割が大きい。企業による環境経営取り組みの海外移転の研究は国内・国外のいずれにおいてもまだほとんどなく、重要な研究領域である。本研究は、日本企業の環境経営の先進性を示し、海外へ情報発信しながら、理論的にも政策的にも新しい領域を開こうとするものである。

2. 研究の目的

本研究では、日本企業の発展途上国における環境経営の移転普及について、独自の理論モデルを構築し、移転の実態無、移転の規定要因およびメカニズムを明らかにする。さらに CSR および業績と環境経営の海外移転との関係を明らかにする。

3. 研究の方法

ベトナム、タイ、において日系企業の子会社でアンケート調査を行いデータを収集している。共分散構造分析、多重回帰分析の手法によって環境経営の移転および環境パフォーマンスの規定要因とメカニズムを明らかにする。

また複数国で聞き取り調査を行い、移転のケーススタディをしている。全体として理論、統計、事例を体系的に結合させながら分析を行っている。

4. 研究成果

研究成果は、IFSAM 2012, IFSAM2014 の他、カナダ、チリ、ポルトガル、台湾等の国際会議で発表した。国内では環境経済・政策学会で発表した。また、論文は、Applied Environmental Research, World Review of Business Research, Journal of Business Administration Research, 組織科学等で発表した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 16 件)

村上一真、

2011 年夏季の専業主婦の節電行動の規定要因の分析：個人費用便益認知と社会費用便益認知の比較を中心に、環境科学会誌、(査読有)、28(1), pp.16-26, 2015.

Tatsuo Kimbara, Kazuma Murakami and Nirundon Tapachai,

Environmental Management Transfer and Environmental Performance by Japanese Firms in Thailand(査読有), Applied Environmental Research, 36(4), pp.81-90,2014.7

金原達夫・村上一真

本社および海外子会社における環境経営メカニズムの比較分析(査読無), 修道商学, 55(1), pp.1-20,2014.9.

Tatsuo Kimbara and Kazuma Murakami,

International Transfer of Environmental Management by Japanese Firms in Vietnam(査読有), World Review of Business Research, 4(2), pp.134-148. 2014.6.

村上一真、

サプライチェーンを通じた環境経営の移転・普及メカニズムに関する研究, 食生活科学・文化、環境及び医療に関する研究助成研究紀要(査読無), 27, pp. 165-177, 2014.

金原達夫・木村 弘

自動車部品メーカーによる環境経営の国際的展開 - JTEKT のケース - , 修道商学, (査読無), 55(1), pp.77-79,2014.

Tatsuo Kimbara and Kazuma Murakami,

Determinants of Environmental Management Transfer by Japanese Firms in Vietnam,(査読有), Journal of Business Administration Research,2(2), pp.23-30. 2013.10.

藤井秀道・金原達夫、

日米製造業企業の環境経営と外部要因(査読有), 組織科学, 46(4), pp.45-63,2013.6.

金原達夫・村上一真、

タイ日系企業の環境経営移転に関する実態調査(査読無), 修道商学, 54(1), pp.1-24. 2013.9.

Tatsuo Kimbara and Hidemichi Fujii, Analysis of Environmental Patents in Japan from 1964 to 2008,(査読有) International Journal of Business Administration, 6(1),pp. 145-162, 2013.1.

村上一真

住民の森林環境税制度受容に係る意思決定プロセスの分析：手続き的公正の機能について、環境科学会誌、(査読有), 26(2), pp.118-127,2013.

村上一真

節電目標の理解度と停電への不安・恐怖が節電行動・節電率に与える影響の分析, 環境科学会誌, (査読有), 26(5), pp.401-412,2013.

Tatsuo Kimbara and Hidemichi Fujii, Environmental Management Mechanisms in U.S and Japanese Manufacturing Firms(査読有), International Journal of Business Administration, 3(6),pp.23-30, 2012.10.

金原達夫、

一次サプライヤーにおける環境経営とその海外移転(査読有), サステナブル・マネジメント, 12(1), pp.41-57, 2012.10.

村上一真

森林環境税の必要性判断に係る意思決定プロセスの分析：地域への愛着と地域との関わりに係る分析，環境経済・政策研究，(査読有)，5(1)，pp.34-45，2012.

村上一真

森林環境税導入地域を対象とした森林行政への信頼の規定要因に関する分析，心理学研究，(査読有)，83(5)，pp.463-471，2012.

〔学会発表〕(計16件)

Tatsuo Kimbara and Kazuma Murakami,

The relationship between financial performance and the transfer of environmental management practices to overseas subsidiaries, International Conference of Tourism and Management Studies, 2014.11.27, Olha, Portugal.

Tatsuo Kimbara and Kazuma Murakami,

CSR assessment and transfer of environmental practices to overseas subsidiaries, IFSAM 2014 World Congress, 2014.9.3, Meiji University.

Tatsuo Kimbara and Kazuma Murakami,

Does CSR enhance environmental transfer of environmental management? 19<sup>th</sup> International Euro-Asia Research Conference, Yashima Gakuen University, Yokohama, 2014.6.1.

Tatsuo Kimbara and Kazuma Murakami,

Determinants of environmental management transfer by Japanese firms in Thailand, 9<sup>th</sup> International Conference on Applied Business Research, Universidad Catholica del Maule, Chili, 2014.10.6.

村上一真，

節電数値目標の有無と電気代値上がりが節電行動に与える影響の分析，環境経済・政策学会，2014.9.13,法政大学。

村上一真，金原達夫，

タイ日系企業における環境経営の促進要因と環境パフォーマンスの規定要因の分析，環境情報科学 学術研究論文発表会，2014.12.16，日本大学

木村 弘，

経営戦略の策定と現場づくり，日本経営診断学会(九州支部会)，2014.9.27，中村学園大学。

木村 弘，

理念がたなく組織づくり，九州経済学会，2014.12.6，九州大学。

Tatsuo Kimbara and Kazuma Murakami,

International Transfer of Environmental Management by Japanese Firms in

Vietnam, Global Business and Finance Research Conference, National Cheung Cheng University, Taipei, 2013.10.28.

Kimbara Tatsuo and Kazuma Murakami,

Determinants of Environmental Management Transfer by Japanese Firms in Vietnam, Ryerson University, Tronto, 2013.6.11.

金原達夫・村上一真，

環境経営の海外移転に関する実態分析，環境経済・政策学会，神戸大学，2013.10.11.

木村弘・金原達夫，

自動車部品メーカーによる環境経営の国際的展開，日本経営診断学会九州部会，久留米大学。2013.8.

村上一真，金原達夫，

ベトナムの日系企業における環境経営の促進要因の分析，環境経済・政策学会，2013.9.21，神戸大学。

村上一真，

節電目標の認知度が節電率に与える影響の構造分析，環境経済・政策学会，2012.9.16，東北大学。

村上一真，

A Causal Analysis Of The Determinants Of Power-Saving Behavior At Home, And Supply-Demand Situation For Electricity in Japan, International Convention of the East Asian Economic Association, 2012.10.20, Singapore.

Tatsuo Kimbara and Hidemichi Fujii,

Comparative analysis of environmental management mechanisms in the US and Japan, IFSAM2012, 2012.6.28, Limrick University, Ireland.

〔図書〕(計2件)

井上善海・木村 弘・瀬戸正則編著，中央経済社，中小企業経営入門，2014，209頁(82-95,96-110)。

金原達夫・羅星仁・政岡孝宏『地域中核企業の環境経営』中央経済社，182頁，2013年。

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：

発明者：

権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

金原 達夫 (KIMBARA Tatsuo )  
広島修道大学・商学部・教授  
研究者番号：20099097

##### (2) 研究分担者

木村 弘 (KIMURA Hiroshi )  
広島修道大学・商学部・准教授  
研究者番号：50336070

村上 一真 (MURAKAMI Kazuma )  
滋賀県立大学・環境科学部・准教授  
研究者番号：40626058

##### (3) 連携研究者

( )  
研究者番号：